

日本の酒 世界に行く

日本の酒類の輸出と現地生産が急ピッチで進んでいます。日本の酒は、グローバリズムの波をどのように乗り越え世界に打って出ているのでしょうか。

日本の酒類のグローバル化 18:00~19:00

日本酒、ビール、ウイスキー

国内の酒類消費は、1996年度をピークに減少を続けています。酒類企業は国内消費の減少を見越し、海外展開に大きく舵を切っています。清酒は米国へ、ウイスキーは米国・フランスへ、ビールは韓国へという流れができています。でも、そこに何の問題もないのでしょうか？事例研究を基に真のグローバル化への課題を考えます。



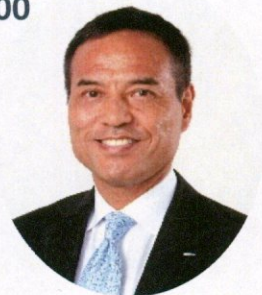
都留 康氏
一橋大学経済研究所 教授

サントリーの挑戦

19:00~20:00

日本発のグローバルカンパニーを目指して

2014年に1兆6000億円を投じて米国ビーム社を買収したサントリーホールディングス。ローソン会長から華麗なる転身を遂げ、創業家以外で初めての同社社長に就任した新浪剛史氏。総合酒類・食品メーカーとして日本発のグローバルカンパニーを目指す中、企業買収後の統合作業をどのように進めるのか？国境を越える一体感をどのように作り上げるのか？グローバル経営の真髓を語り尽くします。



新浪 剛史氏
サントリーホールディングス株式会社
代表取締役社長

10.10 火 18:00~20:00 (17:00受付開始)

如水会館 2階スターホール

お問合せ ▶ 一般社団法人如水会 03-3262-0126
Mail. seminar@josuikai.info
www.facebook.com/1284forum

参加費 ▶ 無料
申込 ▶ WEBから ▶ 『一橋大学開放講座』で検索
FAXから ▶ 03-3262-2150 (講座名、氏名、ふりがな、電話番号を明記ください)

